

製品名: MYOM1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87266**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:188 kDa; Observed MW:188 kDa

抗原情報

遺伝子名	MYOM1
別名	SKELEMIN
遺伝子 ID	8736
SwissProt ID	P52179
免疫原	ヒト MYOM1 の組み換えタンパク質

背景

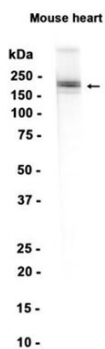
巨大タンパク質タイチンは、その関連タンパク質とともに、サルコメアの主要構造である M 帯および Z 板を相互接続しています。タ

イチン鎖のC末端はM線まで伸びており、見かけの分子量が190 kD (ミオメシン 1) および165 kD (ミオメシン 2) のM帯構成要素と強固に結合します。このタンパク質、ミオメシン 1 は、ミオメシン 2、タイチン、およびその他の筋原線維タンパク質と同様に、フィブロネクチン III 型 (モチーフ I) または免疫グロブリン C2 (モチーフ II) ドメインと強い相同性を持つ構造モジュールを含んでいます。ミオメシン 1 およびミオメシン 2 はそれぞれ独自の N 末端領域を持ち、その後にはモチーフ I またはモチーフ II の 12 個のモジュールが II-II-I-I-I-I-II-II-II-II の配列で続きます。この反復配列を含む領域において、2 つのタンパク質は 50% の配列相同性を示す。タイチン鎖の一端において、これら 2 つのタンパク質によって形成される頭部構造は、M バンドの中央まで伸びている。サルコメアの統合構造は、免疫グロブリン様タンパク質スーパーファミリーの筋特異的なメンバーから生じる。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



MYOM1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス心臓組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。